

授業科目	授業番号： 185			担当者	小林 朋子
	比較文化			授業外対応	適宜対応（要予約）
	〔履修年次〕	〔学期〕	〔単位〕	〔必修／選択〕	〔授業形態〕
	1 年	前期	2 単位	選択	講義方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】多文化主義で学ぶ比較文化論</p> <p>【概要】文化はそれぞれの人が育った環境や受けた教育、時代や社会的な位置によって多種多様である。本講義は、「主流文化」とは何かという問いから始まり、サブカルチャー、ジェンダー、メディア、エスニシティ、ナラトロジーなどをテーマに、それぞれの文化において、誰が何のためにどんな立場でその文化を担っているのか、社会・歴史的に読み解く文脈把握力を養う。それぞれのテーマに関する日本語および英語による文献（英語で書かれた文学作品を含む）を書き手・読み手双方の立場を考察して読解することで、文化・文学批評の基礎的な方法論も学ぶ。＊英</p> <p>【到達目標】他言語を話す人々の価値観を文化・文学を通して知ることができる。文化・文学批評の基礎的な方法を理解している。</p>				
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) 原英一編著『お伽話による比較文化論』（松柏社）</p> <p>(2) 授業で随時紹介します。</p>				
授業 スケジュール	<p>第 1 回 イントロダクション</p> <p>第 2 回 「主流文化」とは何か1</p> <p>第 3 回 「主流文化」とは何か2</p> <p>第 4 回 翻訳文化から考える比較文化</p> <p>第 5 回 マイノリティとマジョリティ1</p> <p>第 6 回 マイノリティとマジョリティ2</p> <p>第 7 回 お伽噺で学ぶ比較文化論：サブカルチャーの行方</p> <p>第 8 回 お伽噺で学ぶ比較文化論：ナラトロジー1</p> <p>第 9 回 お伽噺で学ぶ比較文化論：ナラトロジー2</p> <p>第10 回 お伽噺で学ぶ比較文化論：ナラトロジー3</p> <p>第11 回 お伽噺で学ぶ比較文化論：ジェンダー1</p> <p>第12 回 お伽噺で学ぶ比較文化論：ジェンダー2</p> <p>第13 回 お伽噺で学ぶ比較文化論：ジェンダー3</p> <p>第14 回 お伽噺で学ぶ比較文化論：ジェンダー4</p> <p>第15 回 まとめ</p>				
授業外学習 (予習・復習)	適宜指示する。				
成績評価の方法	授業への参加態度（30%）、小レポート（20%）、最終レポート（50%）				
実務経験について	なし				